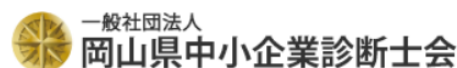


障害福祉サービス等事業者に対する集団指導

成長する事業所に必要な経営ビジョン

一般社団法人岡山県中小企業診断士会
代表理事・会長 松本直也
専務理事 太田記生
理事 乙倉 淳



■本日の内容

1. 事業所のあるべき姿を考える
2. 成長する事業所に必要な経営ビジョンを描く
3. 事業所のあるべき姿を実現する

■事業所のあるべき姿を考える①

【私たちは利用者にどのような支援をしたいですか？】

- ①利用者にどのような活動の機会を提供したいですか？
- ②利用者のどのような能力の向上をお手伝いしたいですか？
- ③私たちは、利用者にどのような支援を行う役割ですか？

■事業所のあるべき姿を考える②

【私たちが目指すのはどのような事業所ですか？】

- ①利用者が安心して活動できるのはどのような事業所ですか？
- ②利用者がスキルアップできるのはどのような事業所ですか？
- ③私たちの事業所では、収入向上にどのように取り組めますか？

■事業所のあるべき姿を考える③

【私たちは自身の事業所をどのように説明しますか？】

- ①利用者の特性をどのように説明しますか？
- ②利用者の能力を伸ばす取り組みをどのように説明しますか？
- ③私たちの事業所は、関係機関に対し就労（継続）支援の社会的な重要性をどのように説明しますか？

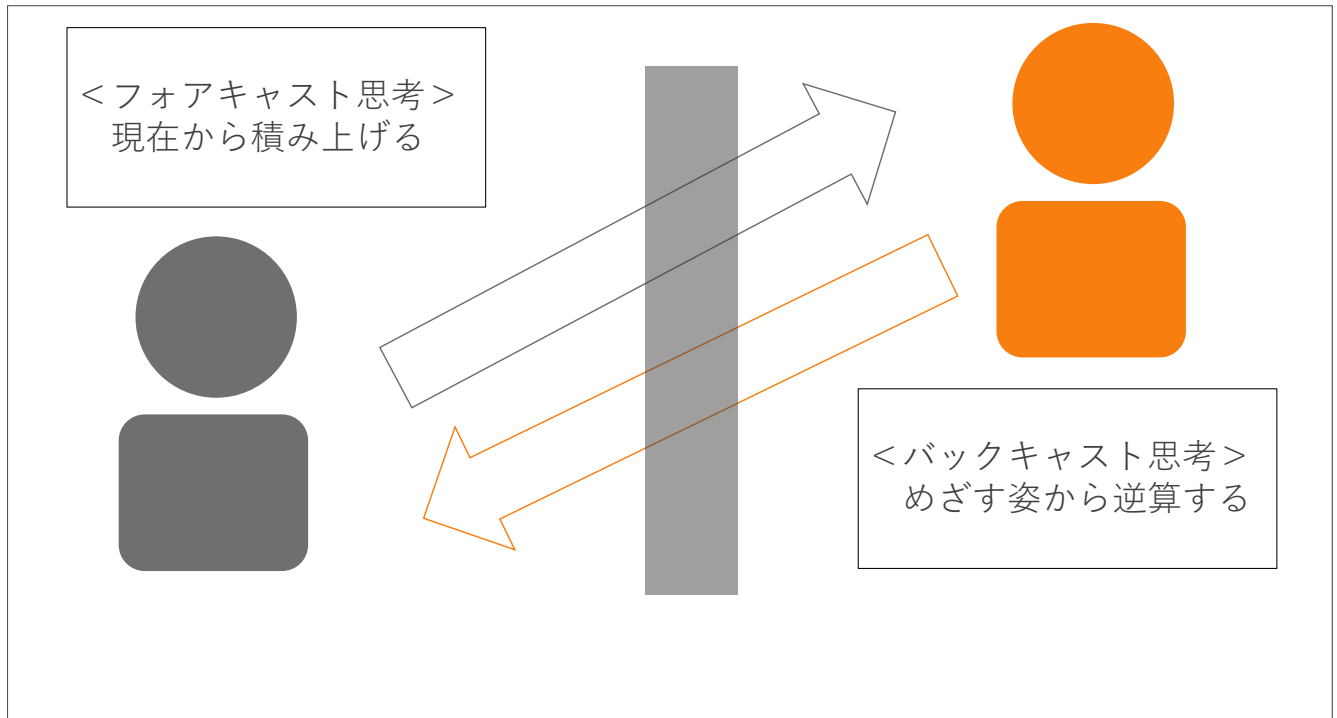
■事業所のあるべき姿（経営ビジョン）を描く

【私たちの事業所のあるべき姿は？】

- ①利用者の能力向上をどのように支援したいですか？
- ②利用者の能力向上の成果（主に事業収入の増）をどのように創出したいですか？
- ③地域づくりにどのように貢献したいですか？

◆あるべき姿 = 「経営ビジョン」・経営方針

■バックキャスト思考



■あるべき姿から実現に向けての4ステップ

【経営ビジョン（あるべき姿）を起点に考える】

- ・ 経営ビジョン（あるべき姿）
↓
- ・ SWOT分析（あるべき姿を実現するための現状分析）
↓
- ・ 課題の設定（あるべき姿を実現するための課題）
↓
- ・ 課題解決の方向性を決める（経営戦略）
↓
- ・ 課題解決（あるべき姿に一步一步近づく取り組み）

■事業所のあるべき姿を実現する①

【SWOT分析で自社の現状を確認する】

	経営ビジョン実現にプラスとなるかもしれない項目	経営ビジョン実現に克服しないと いけないかもしれない項目
内部環境	【強み】	【弱み】
外部環境	【機会】	【脅威】

■事業所のあるべき姿を実現する②

【あるべき姿と現状とのギャップ（経営課題）を定める】

- ・ もっと活かせる・伸ばせる強みはなにか？
- ・ 克服すべき弱みは何か？
- ・ 追い風となる機会はどのようなものか？
- ・ 逆風となる脅威にどう立ち向かうか・かわすか？

■事業所のあるべき姿を実現する③

【経営課題に対する取り組みの方向性を決める】

- ・強みを生かして機会をもっと捉える。
- ・弱みを克服して機会に乗じる。
 - ⇒自動化、理解者増加、事業者向け、消費者向け など
 - ⇒大切なことは職場全体で取り組むこと

■最後に

【私たちが経営ビジョン（あるべき姿）を描く意義】

- ・あるべき姿があることは主体的であること。
- ・主体的であれば、少しずつでも良くなる。
- ・せっかくなら、あるべき姿を語り合うのもいいのでは。
- ・できれば共有できるように文書化したい。

■個人ワーク

<次の内容を3分でまとめてください。>

- ①経営ビジョンを職場で話し合う機会や方法はありますか？

- ②もっと良い経営ビジョンをつくるためにはどうすれば良いと思いますか？（ない場合にはこれからつくるために）

■意見交換会

- ①自己紹介【おひとり1分】
（名前・所属・ご自身の仕事の内容・経営ビジョンの有無）

 - ②経営ビジョンを話し合う機会や方法はありますか？【10分】

 - ③もっと良い経営ビジョンをつくるためにはどうすれば良いと思いますか？（ない場合にはこれからつくるために）【15分】
- ⇒ まとめ【5分】